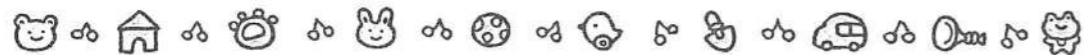


子サポ通信令和4年7月号

手をつなごう No.34

菊池市子育てサポートセンター(菊池市社会福祉協議会)

でんわ:080-2781-3642 / メール:kikuchi-kosapo@docomo.ne.jp



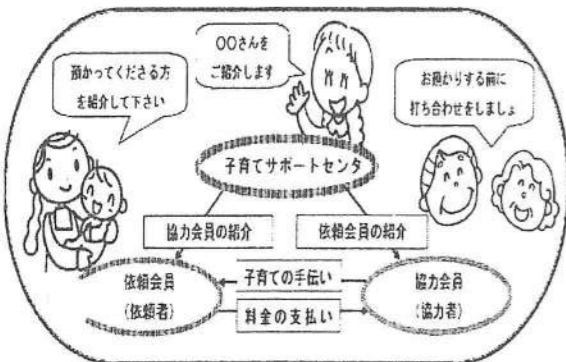
子育てサポートセンターってなあ〜に？

子育てサポートセンターとは、全都道府県で実施されている“ファミリーサポートセンター”のことです。菊池市では子育てのお手伝いをするということから“子育てサポートセンター”という名前になりました。

子育てサポートセンターは、子育て支援事業を行うために設立されたもので、保育園や幼稚園など保育施設としての機能ではなく、地域における「相互援助組織」となっています。

乳幼児や小学生などの子育て中の依頼会員（預ける側）と子育ての援助を希望する協力会員（預かる側）との連絡、調整などを行い、つなぐ役割を担っています。

子育てサポートセンターのしくみ



1. センター主催の講習会を受講した後に会員登録します。
2. 顔合わせの申し込みをします。
3. センターより、条件の合った会員をご紹介します。事前に子どもさんを交えて打ち合わせをします。
4. 支援を希望される日が決まったらセンターにお電話ください。

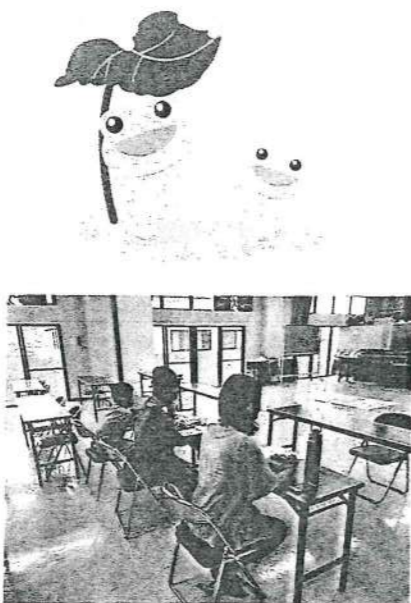
講習会実施しました！

ご参加ありがとうございました！！

第39回(令和4年度第1回)

子育てサポートセンター講習会のご報告

今年も会員登録のための講習会を、令和4年6月18日、25日の2日間にわたり開催いたしました。1日目は救急法、2日目は講義を行いました。依頼会員1名、協力会員1名、両方会員1名、新たに会員登録となりました。ご参加いただいた方、2日間ありがとうございました。



おねがい

日頃より、お世話になっております。依頼会員・協力会員・両方会員のすべての会員みなさまへ、活動をお願い・実施するなかでのお願いがあります。

協力会員さんへ

活動報告書および支援料金請求書の提出は、市への報告や支援料金の振込みに影響しますので、翌月5日までにお願いします。(休日や連休が重なる時は、その前日に提出)

依頼会員さんへ

直接交渉で協力会員さんにサポートしていただくことが決まったら、必ずセンターへ連絡をお願いします。

センターの把握がない活動に対して、活動中の事故等への補償ができない場合があります。

全会員さんへ

・お互いに気持ちよく利用するため、挨拶をはじめサポートをしてもらう上でのマナーなど、改めて配慮をお願いします。

・会員登録時の内容に変更があった場合は、センターまでご連絡ください。(転居・子どもさんが増えたなど)

◎実際に活動いただける協力会員さんが不足しています。依頼会員で協力もできる方はぜひ両方会員さんへ変更を！

お友達などにもご紹介ください！

留意事項

子育てサポートセンターでは、働く保護者や近くに頼れる人がいない方を利用対象者としています。例えば、残業で保育所・幼稚園へお迎えができない場合や土日祝日の勤務の場合、家族の通院の場合などに利用できます。

最近、平日の日中に保育園児や小学生のお子さんを預けられる等、本来の利用とは違った利用をされている方がいらっしゃるようです。つきましては、今までの利用方法をもう一度見直していただき、子育てサポートセンターの利用をお願いいたします。

また、病児・病後児の利用については、本制度の保険では対象とならないため実施しないことになっておりますので、市が行っている病児・病後児保育施設「カンガルーのポケット(みゆき保育園)」をご利用ください。

子育てQ&A

(全国保育士会「保育士がこたえる子育てQ&A」より)

Q、第2子が生まれてから、2歳5カ月の長男が今まで以上にベタベタ甘えてくるようになったのですが、とても忙しく相手にできず、いけないと思いつつも、つい激しく叱ったり何でも「ダメ！」と言ってしまうたり、私自身も気持ちが少し不安定になってしまいました。

どうしたらよいでしょうか。

A、第2子誕生は、ご家族にとってもうれしい出来事ですが、上のお子さんにとっては、お母さんの愛情をとられたと思い、甘えることで関心を自分に向けようとしているのしょう。

しかってはいけないとわかっていても、ついつい感情的になってしまふ現実にお母さんは心身ともにお疲れでしょう。

今は、上のお子さんの立場になって考えてみませんか。今までとは違う行動はすべてお母さんの関心を引くためのものです。お母さんにどうやって甘えられるのか、自分という存在を認めてもらえるのか、お子さんは新しいやりかたは分かりませんが、これまでと同じやり方を強くしてお母さんの関心を引こうとするのです。

お手伝いやお子さんのできることをお母さんが探し、それが少しでもできれば大いに褒めてあげることをしてあげることが大切です。お子さんはお母さんから認められる方法がわかり、安心して繰り返すことができます。そして、それを認めてあげる言葉がけを何度も繰り返してあげましょう。

Q、4カ月の女の子です。夜は、お風呂に入ってからミルクを飲んだら朝までぐっすり寝てくれるのですが、風間は眠くなるぐぐぐす言うので抱っこをして寝かせています。しかし、ちょっとした物音がするとすぐに起きてしまうので、風食がとれないときがあります。

肩こりや腰痛なども出てきて、育児の疲れが少しピークなのですが、どうすればよいでしょうか。

A、赤ちゃんは生後4カ月頃になると昼夜の区別がつき始め、生活のリズムが一定になってくる時期です。それでも一回の眠りが短くなったり浅くなったりするので、芯から眠くなったときに寝かしつけ、目覚めているときは、天候や体調を見ながら戸外に出て散歩するなど気分転換してみてもいいかもしれません。

休日には家族の方にも協力してもらい、お母さんがリフレッシュする時間もとれるといいですね。

退行現象といって、赤ちゃん返りをするお子さんもいます。上のお子さんと二人になる時間などに甘えさせながら、「あなたも大好きよ」、「赤ちゃんもおにちゃん大好きだよ」と言葉や態度で示してみよう。ただし、あまり「おにちゃん」であることを強調するとお子さんが負担に感じてしまいますので、今は上のお子さんの気持ちを受けとめ安定をはかってみましょう。

Q、4カ月の女の子です。夜は、お風呂に入ってからミルクを飲んだら朝までぐっすり寝てくれるのですが、風間は眠くなるぐぐぐす言うので抱っこをして寝かせています。しかし、ちょっとした物音がするとすぐに起きてしまうので、風食がとれないときがあります。

肩こりや腰痛なども出てきて、育児の疲れが少しピークなのですが、どうすればよいでしょうか。

A、赤ちゃんは生後4カ月頃になると昼夜の区別がつき始め、生活のリズムが一定になってくる時期です。それでも一回の眠りが短くなったり浅くなったりするので、芯から眠くなったときに寝かしつけ、目覚めているときは、天候や体調を見ながら戸外に出て散歩するなど気分転換してみてもいいかもしれません。

休日には家族の方にも協力してもらい、お母さんがリフレッシュする時間もとれるといいですね。